

4-3. 自然環境

4-3-1. 気象

堺市の気候は、瀬戸内海式気候に属し、細かくは、南部丘陵部は「泉南海岸及び和泉丘陵気候型区」、それ以外は「大阪平野気候型区」に分類される。

地域気象観測所・堺における気象観測結果は、表 4-3-1 に示すとおりである。平均気温はおよそ 16~17℃と温暖であり、降水量は年間約 900~1,500mm 程度で全国的に見ても少ない方である。

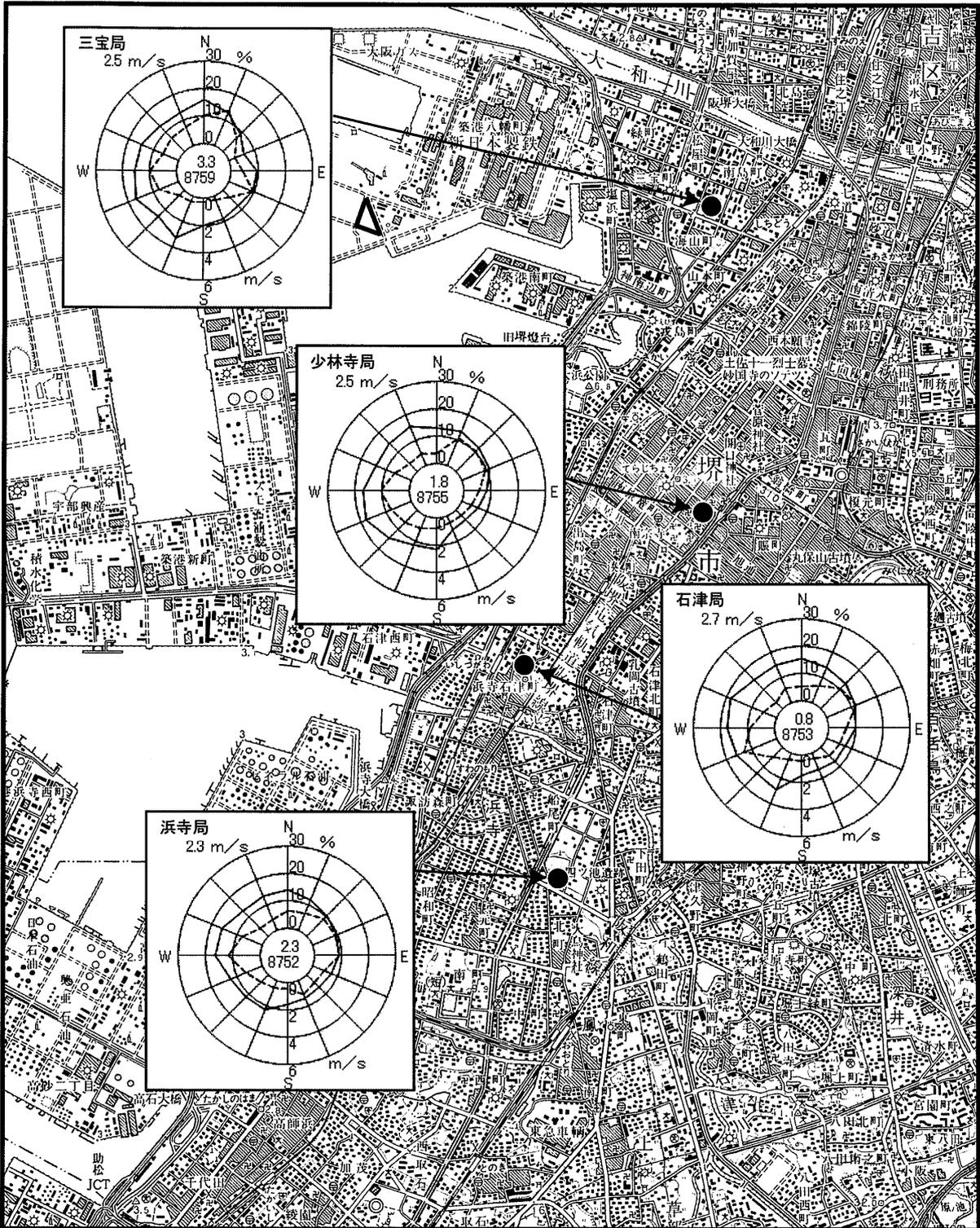
事業計画地周辺の一般環境大気常時測定局における風配図は、図 4-3-1 に示すとおりである。

風向については、各局とも海陸風のため東及び西よりの出現率が高い傾向にある。

表 4-3-1 地域気象観測所・堺における気象観測結果

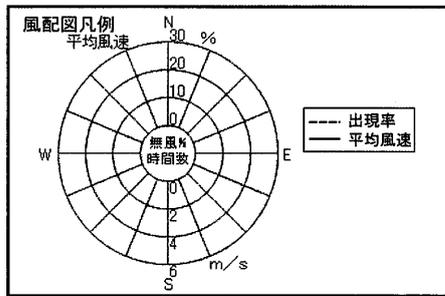
年	気温 (°C)			平均 風速 (m/s)	降水量 (mm)
	平均	最高	最低		
平成15年	15.8	35.2	-3.3	1.4	1,451.0
16年	17.0	37.4	-2.0	1.7	1,407.0
17年	16.3	38.2	-2.2	1.8	882.0
18年	16.4	38.3	-3.7	1.7	1,339.0
19年	16.9	38.4	-1.6	1.7	1,053.0
平均	16.5	37.5	-2.6	1.7	1,226.4

出典：「気象統計情報」（気象庁ホームページ）より作成



凡例
 : 事業計画地

出典：
 「平成18年度 大気汚染常時
 測定局測定結果」
 (平成19年、大阪府) より作成



1 : 50,000

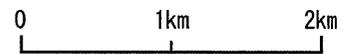


図4-3-1 一般環境大気測定局の風配図(平成18年度)

4-3-2. 地象

(1) 地形

事業計画地周辺の地形分類は、図 4-3-2 に示すとおりである。

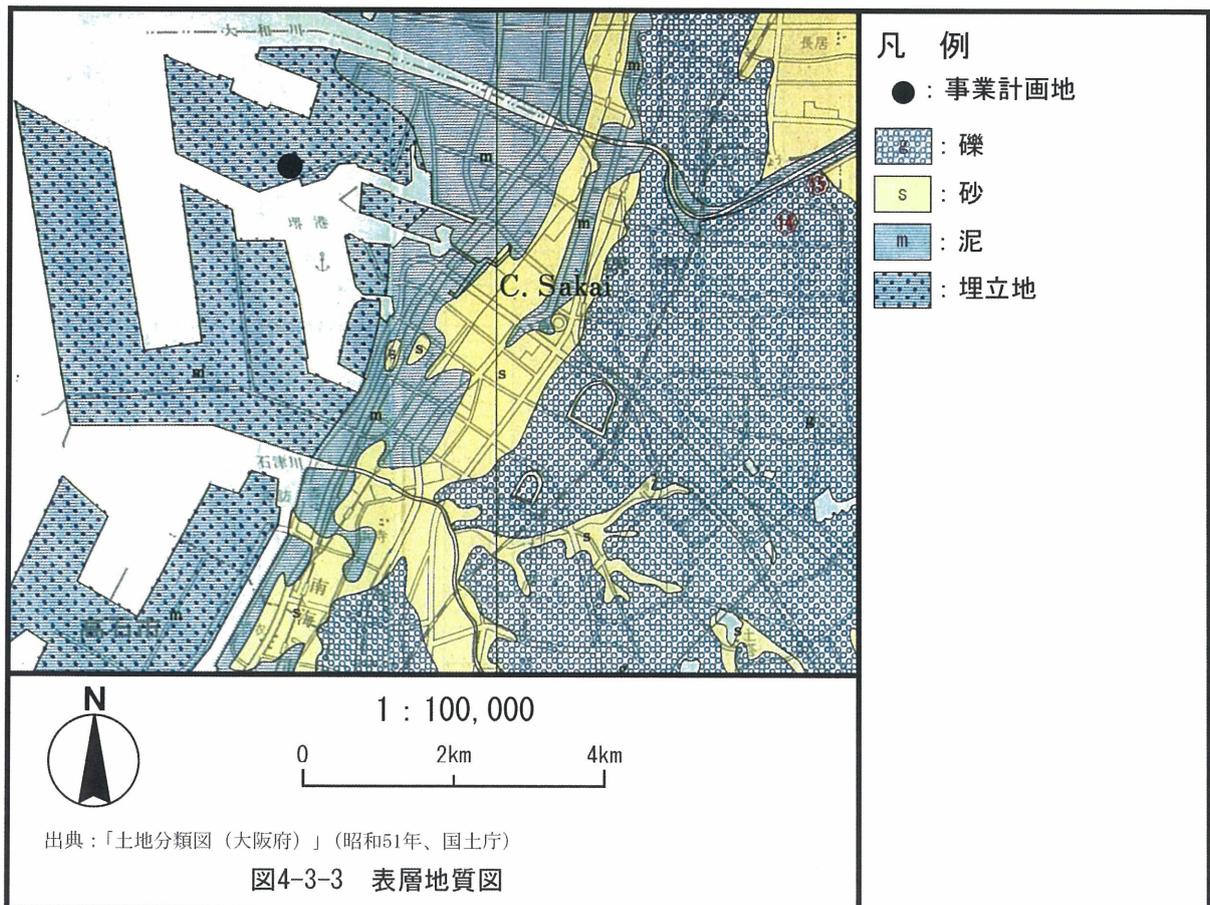
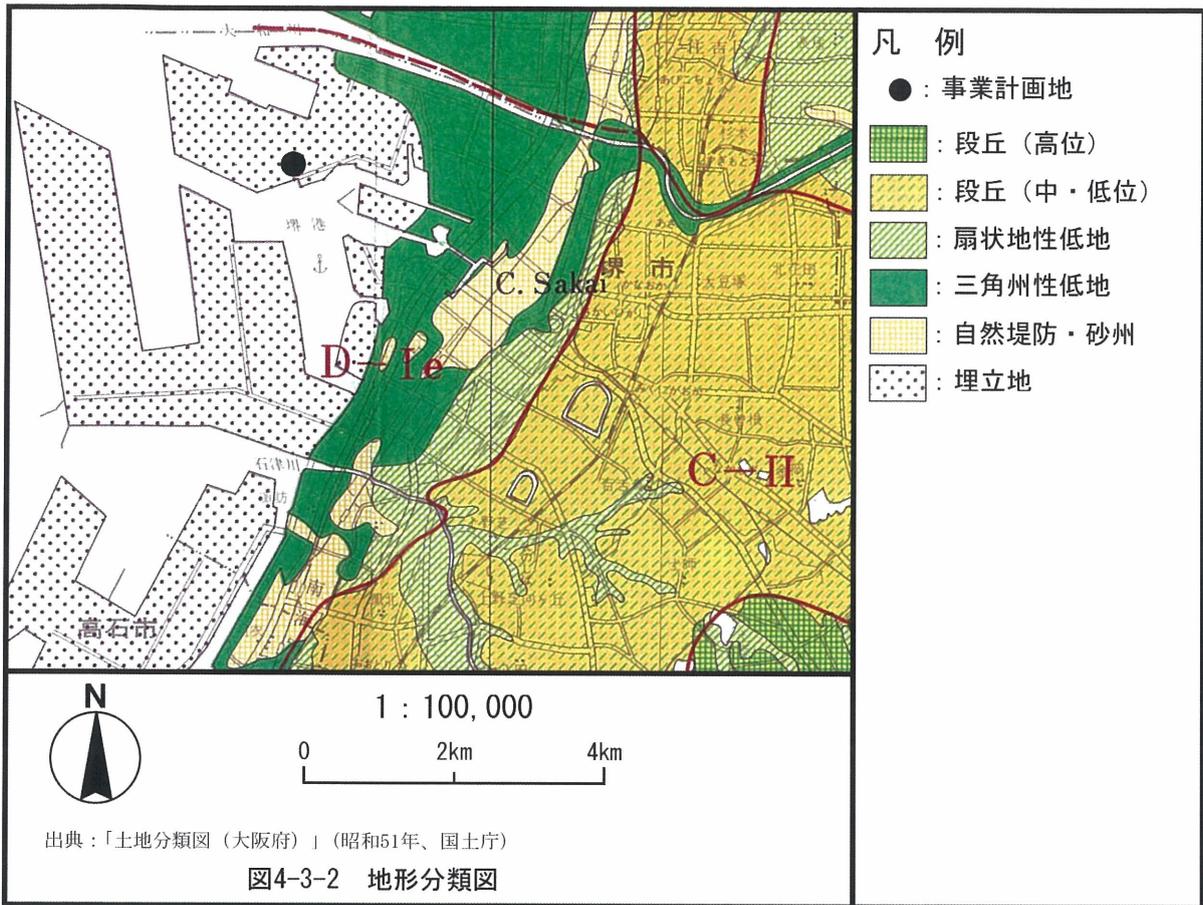
「土地分類図（大阪府）」（昭和 51 年、国土庁）によると、事業計画地は埋立地となっている。また、周辺の主な地形は三角州性低地及び砂州となっている。

また、「日本の地形レッドデータブック 第 1 集 新装版」（平成 12 年、古今書院）によると、事業計画地周辺における保護上重要な地形は確認されていない。

(2) 地質

事業計画地周辺の表層地質は、図 4-3-3 に示すとおりである。

事業計画地は埋立地となっている。また、周辺の地質は、主に礫、砂、泥からなっている。

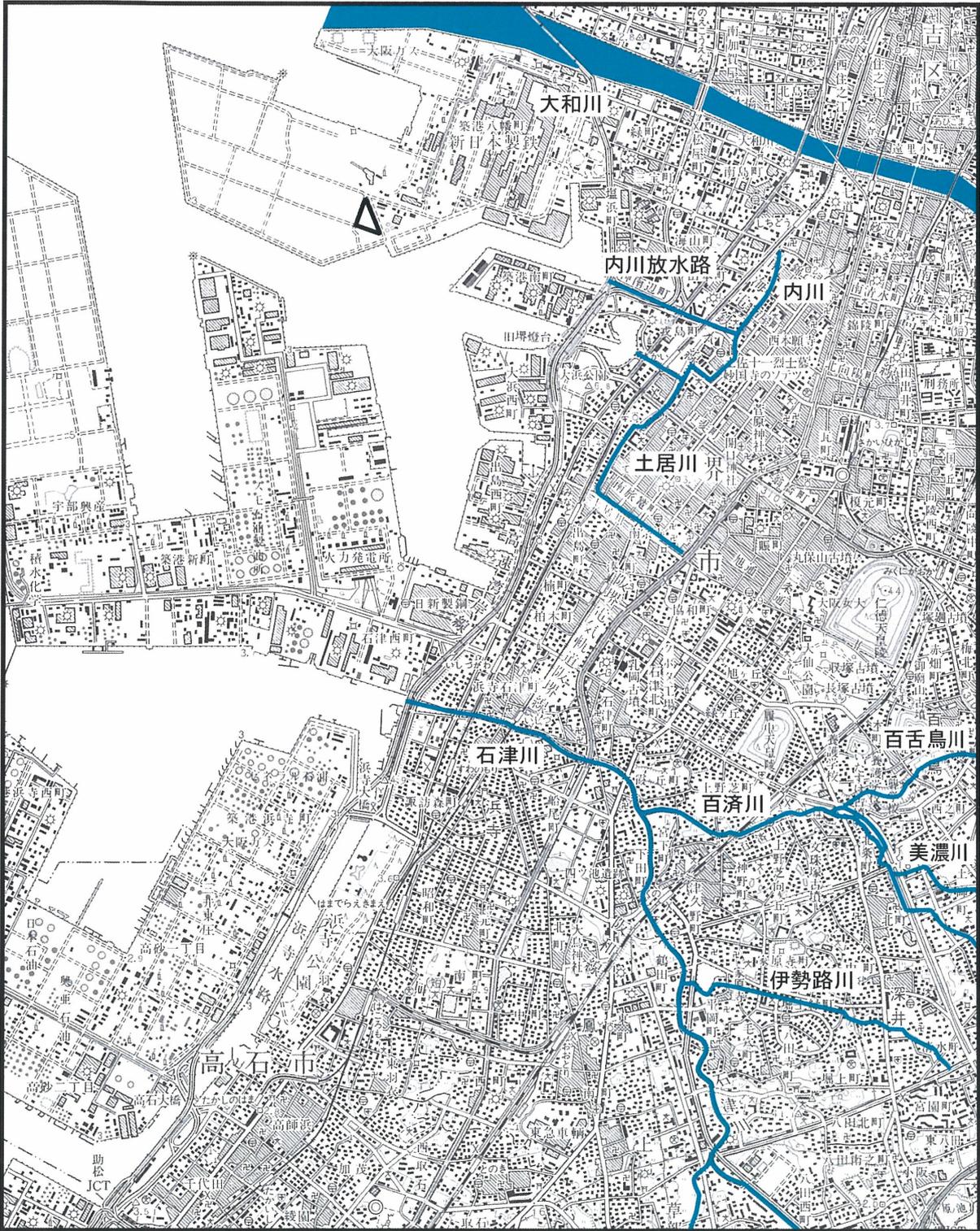


4-3-3. 水象

(1) 河川

事業計画地周辺における主な河川は、図 4-3-4 に示すとおりであり、周辺には、大和川、石津川、百済川、内川放水路、内川、土居川がある。

「堺の環境（平成 20 年版）」（平成 20 年、堺市）によると、堺市には、一級、二級、準用及び普通河川を含めて 29 の河川があり、総延長は約 88km である。これらは大和川水系、石津川水系、その他の水系に大別され、いずれの河川も平水時の水量は少なく、大和川水系以外は一部を除き堺市域に流域が限られている。一方、海岸線は埋立が進み、堺・泉北臨海コンビナートなど人工海岸としての利用度が高くなっている。



凡 例

 : 事業計画地

 : 河川



1 : 50,000

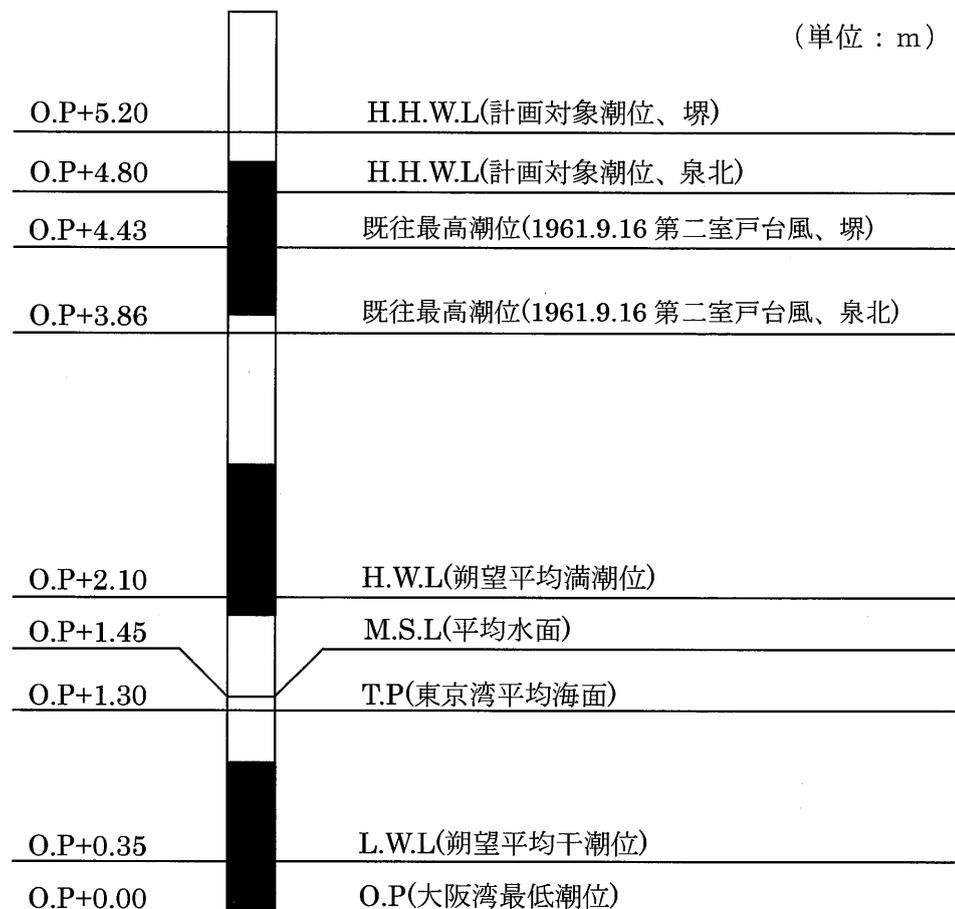


図4-3-4 主な河川の位置

(2) 海域

事業計画地が位置する堺泉北港の潮位は、図 4-3-5 に示すとおりである。

既往最高潮位は、大阪湾基準面（以下「O.P」という）O.P+4.43m、朔望平均満潮位は O.P+2.10m、朔望平均干潮位は O.P+0.35m となっている。



出典：「2008 大阪府営港湾要覧」（大阪府港湾協会）より作成

図 4-3-5 堺泉北港の潮位

また、「大阪湾及播磨灘潮流図」（平成 17 年、海上保安庁）によると事業計画地が位置する大阪湾の潮流は、明石海峡の東西流及び友ヶ島水道の南北流に支配されている。事業計画地の位置する埋立地の沖合では、明石海峡東流最強時には流速 0.1 ノット（約 5cm/s）の北北東流、西流最強時には流速 0.2 ノット（約 10cm/s）の南南西流となっている。

4-3-4. 生態系

(1) 動物

「堺の環境（平成 20 年版）」（平成 20 年、堺市）によると、以下のとおり記載されている。

堺市域内に生息する哺乳類は、タヌキなど約 10 種類で、タヌキについては市街地に進出しており、それ以外は南部に集中している。また、最近では外来種であるアライグマが南部を中心に野生化している傾向がみられる。

鳥類については、湾岸部埋立地の広い裸地ではチドリ類やコアジサシが見られ、埋立地の草原は、カルガモ、ヒバリ、セッカなどの繁殖地になっている。内陸では、平地の農耕地やため池が次々と消失しており、ヨシ帯や水田、水路などに生息する鳥類に影響を与える恐れがある。一方、南部丘陵地には里山的な環境が残されており、豊かな鳥類相が確認されている。

両生類・は虫類については、都市部では外来種のウシガエル、ミシシippアカミミガメが多く見られる。古くから市内に分布していたと考えられる種は、南部丘陵地の限られた地域に集中している。

魚類については、河川・ため池などの淡水域ではコイ、フナ類、メダカ、モツゴ、ヨシノボリ類などや外来種のオオクチバス（ブラックバス）、ブルーギル、サカマキガイが市内のほぼ全域の水系で普通に見られる。なお、南部丘陵地のように里山的な環境が残されている地域では、これ以外にオイカワ、カワバタモロコ、カワムツ、ドンコ、マシジミなどの在来種が分布している。一方、海域では、全域でクロダイ（チヌ）、スズキ、ボラが普通に見られる。また、オヤビッチャやタイワンガザミなどの南方系の魚やカニも見られるようになった。

昆虫類については、近年の気候の温暖化に伴い、ナガサキアゲハやツマグロヒョウモンのように南の地方から分布を広げてきた種や、アオマツムシのように庭木などに依存して分布を拡大しつつある外来種が見られることが最近の特徴である。一方、以前は市内で普通に見られたのに、確認されなくなった種や減少の著しい種が見られる。例えば、ため池や水路、水田からなる「稲作水系」の水生昆虫の衰退が顕著である。また、かつてため池の周辺や河川敷、堤防の草地に見られた昆虫類も衰退している。

(2) 植物

「堺の環境（平成 20 年版）」（平成 20 年、堺市）によると、堺市の北部から中部の平野部では田畑や耕地、空き地、荒れ地の野草、ため池や河川の水生植物などの草本植物が主に分布するほか、社寺林や古墳林も点在する。一方、南部丘陵地では樹林が大部分を占め、現在、アカマツ林からコナラ林、常緑広葉樹への遷移が進行しつつある。また、この地域のため池ではヒツジグサやジュンサイなどがみられ、残された貴重な自然として注目されている。

(3) 貴重な動植物

堺市では「堺市レッドリスト」を平成19年度に作成している。

堺市レッドリスト記載種については、国あるいは地方（近畿あるいは大阪府）レベルですでに絶滅の危機が議論されている生物種、また各種レッドデータブック等に記載はないが、堺市では優先的に保護の対象と考えるべきである種等、各分野に共通する一定の基準を設定し、選定を行っている。

また、市独自のカテゴリー区分を設定し、定義付けを行っている。（表4-3-2）

カテゴリーごとの動植物種の選定状況は、表4-3-3に示すとおりである。

表4-3-2 堺市レッドリストのカテゴリー区分及び定義

区 分	定 義
絶滅	堺市において確認記録、標本があるなど、かつては生息・生育していたが、現在は見られなくなり、最近30年以上確認されていない種。
Aランク (最重要保護)	堺市において個体数が急速に減少した、あるいは個体群の大部分が失われた種で、大阪府や全国的にみても衰退が著しい種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、存続が困難な種。 また、堺市において絶滅したと記載のある種で近年確認された種。
Bランク (重要保護)	Aランクほどではないが、近い将来、堺市あるいは大阪府における絶滅の危険性が高い種。
Cランク (要保護)	堺市及び大阪府において、現時点では絶滅の危険性は小さいが、生息状況の変化によっては「Bランク（重要保護）」以上にランクを移行する可能性がある種。 また、堺市において減少している、あるいは減少の恐れが強い環境（湿地、ため池、良好な水路・二次林・草原・農耕地など）との結びつきが強く、守りたい環境の指標となる種。
情報不足	評価するだけの情報が不足している種。 情報が得られ次第「Cランク（要保護）」あるいはそれ以上のランクに移行する可能性を有するが、現時点ではカテゴリーを評価する情報が不足している種。
要注目	「絶滅」「Aランク」「Bランク」「Cランク」「情報不足」の区分以外で堺市において保護上有用なもの。

注）植物群落については、「堺市における要注目植物群落」を別途設定。（表4-3-3(5)）

出典：「堺の環境（平成20年版）」（平成20年、堺市）より作成

表4-3-3(1) 貴重種の選定状況

絶滅	
鳥類:1種	カワガラス
陸生無脊椎動物:12種	アオハダトンボ、ベッコウトンボ、マダラナニワトンボ、ミヤマアカネ、オオキトンボ、タガメ、コバンムシ、ルイスハンミョウ、コガタノゲンゴロウ、コガタガムシ、ギンイチモンジセセリ、シルビアシジミ
維管束植物:42種	シノブ、アカウキクサ、オニグルミ、カワラハンノキ、ニオイタデ、アキノミチヤナギ、ヤマゴボウ、カワラアカザ、オカヒジキ、ヒキノカサ、ハタザオ、タチスズシロソウ、タヌキマメ、ミソナオシ、ハマエンドウ、ハマゼリ、ハマボウフウ、サワフタギ、アサザ、ケテイカカズラ、ハマネナシカズラ、ハマゴウ、ミズトラノオ、ナミキソウ、ウンラン、ハマウツボ、ウラギク、キンバイタウコギ、タウコギ、オグルマ、カセンソウ、ホソバニガナ、アギナシ、キスゲ、アイアシ、タキキビ、コウボウムギ、コウボウシバ、シオクグ、イソヤマテンツキ、コウキヤガラ、サンカクイ

出典：「堺の環境（平成20年版）」（平成20年、堺市）より作成

表 4-3-3(2) 貴重種の選定状況

A ランク(最重要保護)	
両生・爬虫類:3種	カスミサンショウウオ、アカハライモリ、ダルマガエル
鳥類:14種	ヨシゴイ、ハチクマ、オオタカ、サシバ、チュウヒ、クイナ、ヒクイナ、タマシギ、イカルチドリ、シロチドリ、ツバメチドリ、コアジサシ、トラフズク、コミミズク
淡水魚・貝類:3種	カワバタモロコ、メダカ マツカサガイ
陸生無脊椎動物:38種	ホソミイトトンボ、ベニイトトンボ、モートンイトトンボ、コバネアオイトトンボ、ニホンカワトンボ、ムカシヤンマ、キイロサナエ、オナガサナエ、オグマサナエ、オオルリボシヤンマ、ネアカヨシヤンマ、アオヤンマ、トラフトンボ、ハネビロエゾトンボ、エゾトンボ、ヨツボシトンボ、ハッチョウトンボ、キトンボ、ナニワトンボ、マイコアカネ、ヒメアカネ、ネキトンボ、ウスバカマキリ、イナゴモドキ、エノキカイガラキジラミ、イトアメンボ、マルガタゲンゴロウ、ヒメボタル、ヘイケボタル、アオバセセリ、ミヤマセセリ、オナガアゲハ、ツマグロキチョウ、ミドリシジミ、ゴイシシジミ、サカハチチョウ、メスグロヒョウモン、スミナガシ
維管束植物:61種	ミズニラ、サンショウモ、オオアカウキクサ、サイコクヌカボ、ナガバノウナギツカミ、サデクサ、オニバス、ヒツジグサ、アリマウマノスズクサ、アゼオトギリ、イシモチソウ、コモウセンゴケ、コイヌガラシ、ツメレンゲ、イヌハギ、マキエハギ、ツルフジバカマ、ヤマビワ、ミズマツバ、オグラノフサモ、ムカゴニンジン、タイミンタチバナ、ハマサジ、クロミノニシゴリ、イヌセンブリ、ガガブタ、タチカモメヅル、スズサイコ、ゴマクサ、ヒキヨモギ、イヌノフグリ、ノタヌキモ、キキョウ、スイラン、マルバオモダカ、ヤナギスプタ、トチカガミ、ミズオオバコ、イトトリゲモ、オオトリゲモ、ノカンゾウ、ノハナショウブ、ヌマカゼクサ、ヒロバノドジョウツナギ、スズメノコビエ、ウキシバ、オオミクリ、ヤマトミクリ、ヒメミクリ、セイタカハリイ、フトイ、コシンジュガヤ、エビネ、ギンラン、キンラン、サイハイラン、ミヤマウズラ、サギソウ、ジガバチソウ、クモキリソウ、オオバノトンボソウ
蘚苔類:2種	ウキゴケ、イチョウウキゴケ
菌類:3種	ショウロ、シモコシ、マツタケ
B ランク(重要保護)	
両生・爬虫類:3種	ニホンアカガエル、トノサマガエル ヒバカリ
鳥類:8種	ツルシギ、クサシギ、タカブシギ、カッコウ、アオバズク、フクロウ、ヨタカ、サンショウクイ
淡水魚・貝類:9種	ヌマムツ、ドジョウ、ドンコ、カワアナゴ、ウキゴリ、ゴクラクハゼ ナガオカモノアラガイ、クルマヒラマキガイ(レンズヒラマキガイ)、オオタニシ
陸生無脊椎動物:41種	キシノウエトタテグモ、ヒトエグモ オツネトンボ、ヤマサナエ、ホンサナエ、マルタンヤンマ、コシボソヤンマ、カトリヤンマ、サラサヤンマ、タカネトンボ、シオヤトンボ、ウスヒラタゴキブリ、ヒナカマキリ、クマスズムシ、カヤキリ、セグロバツタ、クルマバツタ、チツゼミ、オヨギカタピロアメンボ、コオイムシ、キカマキリモドキ、エリザハンミョウ、ヒョウタンゴムシ、マメクワガタ、ネプトクワガタ、コカブトムシ、ゲンジボタル、ジュウクホシテントウ、ジュウサンホシテントウ、ヨツボシカミキリ、クロマルハナバチ、ホソバセセリ、オオチャバネセセリ、ジャコウアゲハ、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ミドリヒョウモン、イチモンジチョウ、ヒオドシチョウ、ジャノメチョウ、オナガミズアオ
維管束植物:44種	オミズギ、ヒカゲノカズラ、イヌドクサ、コヒロハハナヤスリ、タカサゴキジノオ、オオバノハチジョウシダ、ツヤナシイノデ、ナチシケシダ、ムサシシケシダ、ミヤマノコギリシダ、コウヤワラビ、コギシギシ、カララナデシコ、ジュンサイ、モウセンゴケ、イヌナズナ、ワレモコウ、カワラケツメイ、キカラスウリ、シャクジョウソウ、センブリ、コバノニセジュズネノキ、カワヂシャ、ホザキノミミカキグサ、リュウノウギク、ヒルムシロ、フトヒルムシロ、アイノコイトモ、ホッスモ、セトウチホトトギス、オオホシクサ、オガルカヤ、カモノハシ、アシカキ、コガマ、アイダクグ、オオシロガヤツリ、イガクサ、ノグサ、ヒメホタルイ、ウキヤガラ、ハナミョウガ、カキラン、アケボノシユスラン
蘚苔類:3種	アラハシラガゴケ、イヨススキゴケ、エゾヤノネゴケ
菌類:2種	オウギタケ、アマタケ

出典：「堺の環境(平成20年版)」(平成20年、堺市)より作成

表 4-3-3(3) 貴重種の選定状況

Cランク(要保護)	
哺乳類:2種	ヒミズ、カヤネズミ
両生・爬虫類:1種	ニホンイシガメ
鳥類:20種	ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、コサギ、ハイタカ、ノスリ、キジ、コチドリ、ケリ、トウネン、ハマシギ、タシギ、ホトトギス、ヒバリ、ヤブサメ、オオヨシキリ、セッカ、キビタキ、オオルリ、サンコウチョウ
淡水魚・貝類:17種	ウナギ、タモロコ、カマツカ、ナマズ、アユ、ウロハゼ ドブシジミ、マシジミ、ドブガイ、クチマガリマイマイ、ヒメタマゴマイマイ、ケハダ ビロウドマイマイ、ヒラマキガイモドキ、ヒラマキミズマイマイ、モノアラガイ、チリ メンカワニナ、カワニナ
陸生無脊椎動物:61種	サワガニ キイトトンボ、ハグロトンボ、ミヤマカワトンボ、アサヒナカワトンボ、オジロサナ エ、フタスジサナエ、ミルンヤンマ、コノシメトンボ、ツチゴキブリ、キンヒバリ、ス ズムシ、ササキリモドキ、ショウリョウバッタモドキ、ニセハネナガヒシバッタ、ハウ チワウンカ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、ハルゼミ、オオアメンボ、タイ コウチ、オオミズムシ、ヒメカマキリモドキ、ツノトンボ、コハンミョウ、ミズスマ シ、ツシマヒラタシデムシ、ヒラタクワガタ、ヤマトアオドウガネ、カブトムシ、ヤマ トタマムシ、ウバタマコメツキ、クロマドボタル、カメノコテントウ、コアシナガバ チ、クロスズメバチ、ツマグロトビケラ、コバントビケラ、チャミノガ、ダイミョウセ セリ、キマダラセセリ、コチャバネセセリ、カラスアゲハ、ツマキチョウ、スジグロシ ロチョウ、コツバメ、ムラサキツバメ、トラフシジミ、コムラサキ、イシガケチョウ、 クロヒカゲ、ヒカゲチョウ、コジャノメ、サトキマダラヒカゲ、オオミズアオ、ウスタ ビガ、シンジュサン、クロホウジャク、キシタバ、オオトモエ
維管束植物:24種	バッコヤナギ、ツルナ、ミズオトギリ、アカバナ、イチヤクソウ、リンドウ、カギカズ ラ、ハマヒルガオ、イヌタヌキモ、オミナエシ、オトコエシ、ツリガネニンジン、ツル ニンジン、キセルアゼミ、ノニガナ、センボンヤリ、アキノキリンソウ、クロモ、ホソ バミズヒキモ、ショウジョウバカマ、ササユリ、タガネソウ、ヒナガヤツリ、イヌホタ ルイ
蘚苔類:2種	ホソミツヤゴケ、ヤマハイゴケ
菌類:1種	ハツタケ
情報不足	
両生・爬虫類:5種	タゴガエル、カジカガエル、ニホンスッポン、ジムグリ、シロマダラ
鳥類:3種	ササゴイ、トビ、ツミ
陸生無脊椎動物:7種	ヤマトゴキブリ、ヒメヒシバッタ、ラクダムシ、キイロコガシラミズムシ、チュウブホ ソガムシ、ウマノオバチ、キアシハナダカバチモドキ
蘚苔類:1種	オオミズゴケ
菌類:8種	センボンサイギョウガサ、マグソタケ、ホウキタケ、クロカワ、コウタケ、ハナビラタ ケ、スジチャダイゴケ、イカタケ

出典：「堺の環境（平成20年版）」（平成20年、堺市）より作成

表 4-3-3(4) 貴重種の選定状況

要注目	
哺乳類:2種	テン、イタチ
両生・爬虫類:5種	ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、ニホンマムシ
鳥類:6種	チュウサギ、ツクシガモ、ミサゴ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、ヤマドリ
陸生無脊椎動物:16種	オオエゾトンボ、オオゴキブリ、ヒメクロゴキブリ、カンタン、トゲナナフシ、オオキンカメムシ、チャイロカメムシ、ウシカメムシ、エサキモンキツノカメムシ、ヘビトンボ、クロスジヘビトンボ、ヤマトクロスジヘビトンボ、キノコゴミムシ、クロシデムシ、ヒラズゲンセイ、チャイロスズメバチ
維管束植物:99種	コバノカナワラビ、エンシュウベニシダ、カタイノデ、サカゲイノデ、ジュウモンジシダ、ドウリョウウイノデ、ヒメシダ、トガリバイヌワラビ、ウラボシノコギリシダ、ヘビノネゴザ、クサソテツ、ヨシノヤナギ、ケヤマハンノキ、シリブカガシ、ウラジロガシ、ツクバネガシ、ウワバミソウ、オオサンショウソウ、ヤマミズ、ヒノキバヤドリギ、マツグミ、ホオノキ、マツモ、ウマノスズクサ、オオバウマノスズクサ、キケマン、マルバウツギ、ノリウツギ、チャルメルソウ、ミツバツチグリ、ケカマツカ、リンボク、ヤブイバラ、ヤマイバラ、ナンキンナナカマド、フジカンゾウ、クララ、ツルシキミ、カラスザンショウ、ツリフネソウ、ツリバナ、クマヤナギ、コガンビ、ナツグミ、イイギリ、コタチツボスミレ、アギスミレ、ゴキヅル、ハナイカダ、ウラゲウコギ、ヒメチドメ、ミヤコツツジ、カラタチバナ、ミミズバイ、アリドオシ、キバナカワラマツバ、ホナガタツナミソウ、サワトウガラシ、アブノメ、クチナシグサ、ナンバンギセル、ウグイスカグラ、ミヤマウグイスカグラ、ソクズ、タニギキョウ、オトコヨモギ、タムラソウ、ヤクシソウ、ヘラオモダカ、ノギラン、ホウチャクソウ、ミヤマナルコユリ、タチシオデ、ヒロハノコウガイゼキショウ、ヌカボシソウ、ダンチク、カリマタガヤ、ナルコビエ、ハイチゴザサ、エゾノサヤヌカグサ、マコモ、キシダマムシグサ、マムシグサ、ウラシマソウ、ハタガヤ、エナシヒゴクサ、ハリガネスゲ、ヒゴクサ、ヒメシラスゲ、オタルスゲ、ササノハスゲ、オオイトスゲ、ヒメモエギスゲ、ヌマガヤツリ、シカクイ、ヒメテンツキ、クロテンツキ、コイヌノハナヒゲ、エゾアブラガヤ
藻類:3種	オウシャジクモ、ジュズフラスコモ、シャジクモ
菌類:2種	トキイロラップタケ近縁種、クモタケ

出典：「堺の環境（平成20年版）」（平成20年、堺市）より作成

表 4-3-3 (5) 貴重種の選定状況

堺市における要注目植物群落		
群落名	対象	選定理由等
コジイ群落	全て	堺市の平野山間部における気候的極相のカナメモチーコジイ群集に準ずる植生で、堺市ではほとんど残っていない。学術的にも遺伝子資源・自然学習教材としても重要である。 特に低木層、草本層を伴うコジイ群落が重要である。
シリブカガシ群落	全て	遷移段階としては堺市の平野・山間部における気候的極相(カナメモチーコジイ群集)に近い群落。 大阪府内における分布の北限、東限にあたり、学術的にも遺伝子資源・自然学習教材としても重要である。
コナラ群落	群落面積 10ha 以上	堺市における山間部の野生生物の生育・生息空間として非常に重要な区域である。 本群落も巨視的にみれば孤立林であるが、一定程度の面積を保つことにより在来の野生生物が生息可能となり、また比較的自然的な植生遷移が進行できると推測される。 コナラ群落においては周辺住民との関わりが歴史的にも重要であり、その実態解明と再構築が重要である。 また、近畿各地で進行している「ナラ枯れ」について懸念されている。
アカマツ群落	全て	主に尾根筋、山頂部に残存するアカマツ林が対象。 人工地盤上に新たに形成されたアカマツ林は含まない。 松くい虫の被害や遷移の進行(コナラ群落への移行)により、アカマツ林は減少。
堺市南部の 棚田植生	里山(二次林=主にコナラ群落)及び一部採草地・法面・溜池と、道路や建築物等の人工物によって分断されず、連続あるいは隣接した水田(水田雑草群落)。 なお、水田は圃場整備されていない水田を、里山(二次林=主にコナラ群落)は 10ha 以上のコナラ群落を対象とする。	水田(畦畔、水路を含む水田雑草群落)が道路や建築物等の人工物によって分断されることなく、里山(二次林=主にコナラ群落)及び採草地法面、溜池と連続あるいは隣接した環境。 なお、水田は圃場整備されていない水田を、里山(二次林=主にコナラ群落)は 10ha 以上のコナラ群落を対象とする。 水田雑草群落の構成種は、藻類では車軸藻綱のシャジクモ類やフラスコモ類、植物ではキカシグサ、コケオトギリ、セリ、チゴザサ、ミズオオバコホッスモ等、両生類ではトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、カスミサンショウウオ、昆虫類では各種トンボ類、水生カメムシ類、水生コウチュウ類など。また、水田雑草群落周辺のススキやチガヤ、オミナエシの採草地法面では、貧栄養湿地～低層湿原に生育するアリノトウグサ、ヤマイ、コモウセンゴケ、ワレモコウ、タチカモメヅル、キセルアザミ、ミズスギ、リンドウ等が生育している。
ツバメの 集団ねぐら	ヨシ、オギ等の高茎植物群落で、ツバメが集団ねぐらとして利用しているもの。	ツバメは、集団ねぐら地としてヨシ原等を必要とするが、このような場所は開発の対象となりやすい。過去に行われた池周辺の埋立て等による集団ねぐら地の消失の経過を踏まえ、ヨシ、オギ等の高茎植物群落のうち、ツバメの集団ねぐらとなっているものを対象とする。

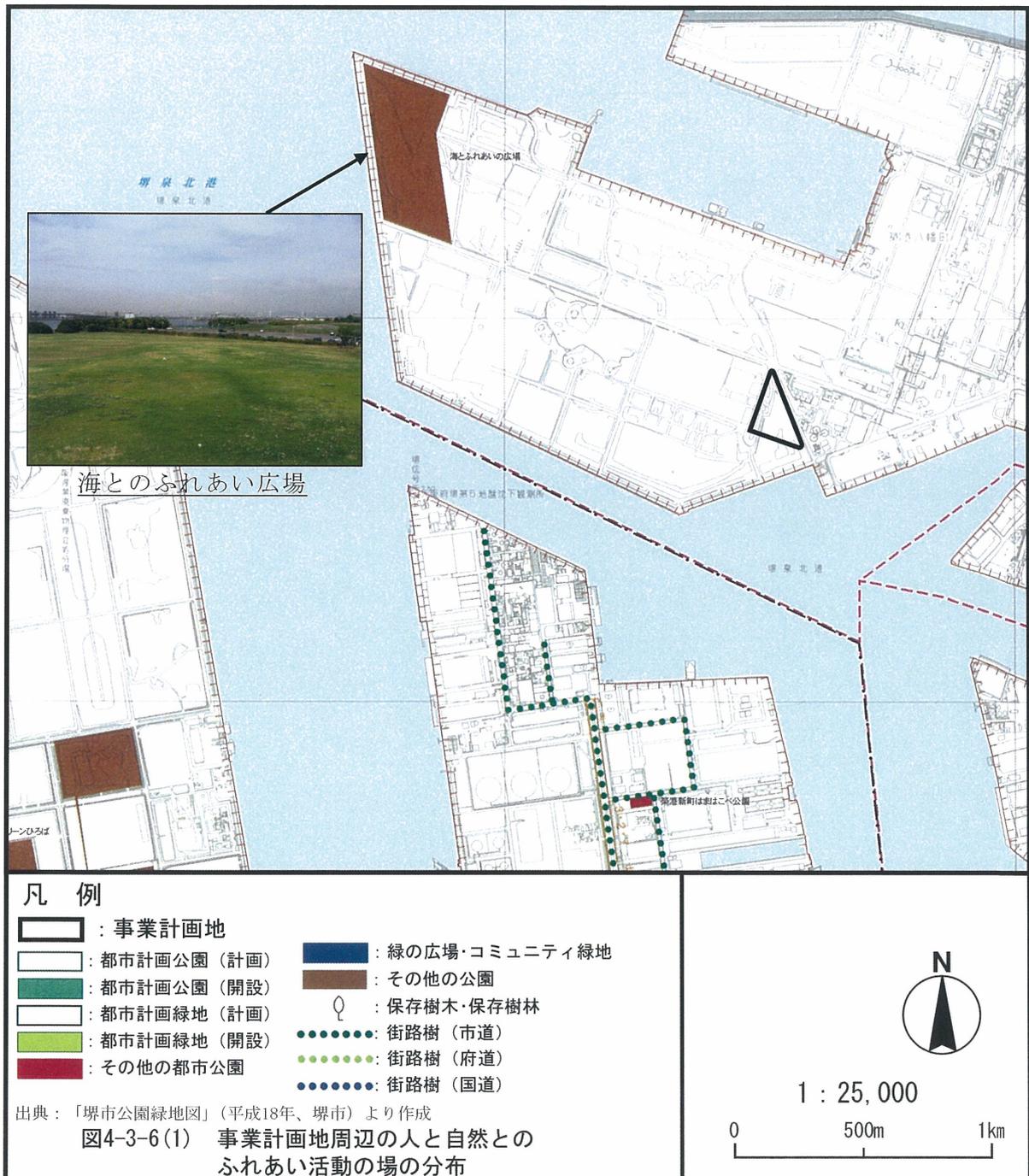
出典：「堺の環境(平成20年版)」(平成20年、堺市)より作成

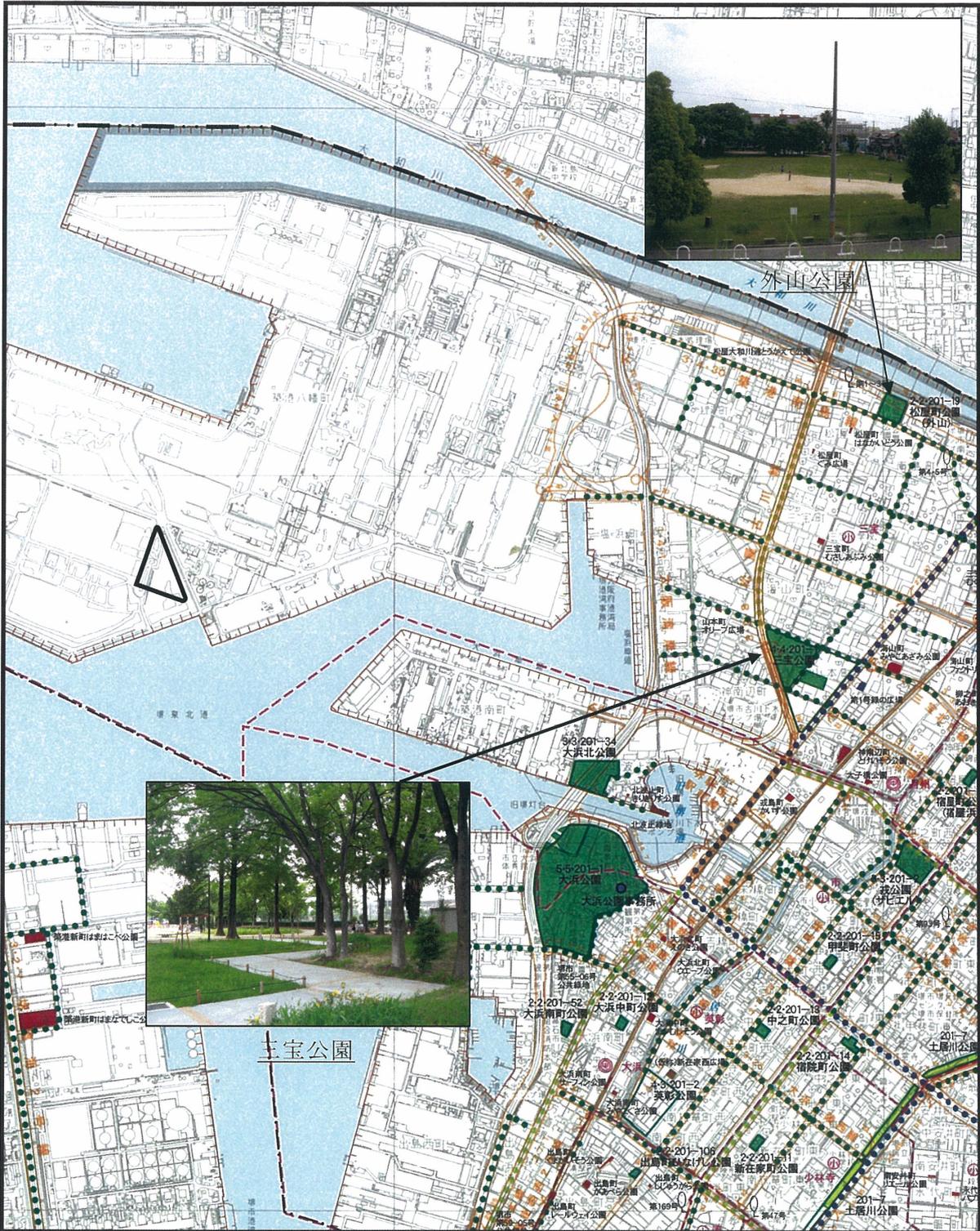
4-3-5. 人と自然との触れ合い活動の場

事業計画地周辺における主な人と自然との触れ合い活動の場の分布状況は、図 4-3-6 に示すとおりであり、都市計画公園では三宝公園、外山公園、大浜公園、その他都市公園では、むさしあぶみ公園などが点在し、その他の公園では、海とのふれあい広場などが存在する。

4-3-6. 自然景観

事業計画地周辺は、工場や倉庫等がほとんどであり、森林、山地等の自然景観は存在しない。





凡 例

- : 事業計画地
- : 都市計画公園 (計画)
- : 都市計画公園 (開設)
- : 都市計画緑地 (計画)
- : 都市計画緑地 (開設)
- : その他の都市公園
- : 緑の広場・コミュニティ緑地
- : その他の公園
- Q : 保存樹木・保存樹林
- : 街路樹 (市道)
- : 街路樹 (府道)
- : 街路樹 (国道)



1 : 25,000



出典：「堺市公園緑地図」（平成18年、堺市）より作成
 図4-3-6(2) 事業計画地周辺の人と自然とのふれあい活動の場の分布